

Table with columns: 業種, 建設業, 製造業, 不動産業. Rows include financial metrics like 売上高, 利益率, and 生産性 for the period 2016年 2月末現在 (経営分析表).

2016年2月の県下中小企業の業績動向は次の通り。調査対象企業3,582社のうち黒字企業は50.2%で1,799社。全産業の売上高は対前年同月比で98.2%とやや減少している。業種別で見ると、売上高対前年同月比が100%を上回り、改善している業種が、情報通信業、小売業、宿泊業・飲食サービス業である。一方、売上高対前年同月比が100%を下回っている業種は、建設業、製造業、運輸業・郵便業、卸売業、不動産業、サービス業である。また、全産業の売上高総利益率は27.1%で、対前年同月比100.7%となっており、前年に比べやや改善している。そして、全産業の売上高営業利益率は2.9%で対前年同月比90.6%、売上高経常利益率は3.7%で対前年同月比94.8%と両方の値とも対前年同月比で悪化している。これは、販売費・一般管理費率が対前年同月比102.1%となっている影響が考えられる。

【建設業】 調査対象企業567社中、黒字企業288社で黒字企業比率50.7%。建設業全体の売上高は対前年同月比で98.9%と減少。業種別に見ると、総合工業は97.6%、職別工業は100.8%、設備工業は99.7%となっている。また、建設業全体の売上高総利益率は24.8%であり、対前年同月比99.2%となっておりやや悪化している。これは、労務費率が対前年同月比で103.0%、外注加工費率が対前年同月比で101.2%と増加している影響が考えられる。

【製造業】 調査対象企業586社中、黒字企業320社で黒字企業比率54.6%。製造業全体の売上高は対前年同月比98.6%と減少。業種別に見ると、なめし革・同製品・毛皮製造業の売上高が対前年同月比112.9%と最もよく、次いで、はん用機械器具製造業が110.7%、食品製造業が105.7%と好調な値を示している。一方で、売上高対前年同月比が100%を下回っているのは、鉄鋼業で88.9%、電子部品・デバイス・電子回路製造業で90.6%、生産用機械器具製造業90.7%と悪化している業種もある。また、製造業全体の売上高総利益率は21.8%であり、対前年同月比101.3%と改善している。

【不動産業】 調査対象企業278社中、黒字企業155社で黒字企業比率55.7%。不動産業全体の売上高は対前年同月比92.7%と減少。業種別では、不動産取引業の売上高が対前年同月比で87.2%、不動産賃貸業・管理業は、対前年同月比で95.3%となっており、いずれも減少している。

【サービス業】 調査対象企業148社中、黒字企業61社で黒字企業比率41.2%。サービス業全体の売上高は対前年同月比88.6%と大きく減少。売上高総利益率は34.5%で対前年同月比109.2%となっており、売上高は減少しているが売上高総利益率は改善している。